



市政羅針盤

市長が自ら、市政運営の方針を分かりやすくお伝えします。 ㊟秘書課 ☎ 36-7117

今月のテーマ 市長就任3年を迎えて、公約の実施状況を公表します

早いもので市長就任から丸3年を迎えます。この間、常に10年先の島田を念頭に置いて時代の潮流を読み、「市民とともに創る開かれた市政」を目指して、その舵取りにまい進してきました。今月は、最近の所感と市長就任時に市民の皆さまとお約束した具体的な公約（マニフェスト）の取り組み状況についてお伝えします。

2年前、日本創成会議は、2010年からの30年間に20～39歳の女性人口が5割以上減少する可能性のある896自治体（全国の49.8%）を「消滅可能性都市」として発表しました。これをきっかけに、人口減少、東京一極集中、超高齢化社会などの問題がクローズアップされ、待ったなしの状況が明らかになる中、国の方針のもと「地方版総合戦略」の策定につながりました。急速な高齢化社会の到来は、社会保障費や医療費の急増に加えて、地域の活力を低下させ、コミュニティーの衰退による「自治会や町内会が維持できない」「役員になる人がいない」「組長の順番を回せない」などの課題を生じさせつつあります。

こうした状況を回避しマイナスをプラスに転じるには、これまで以上に地域（市民）と行政が協力して課題を解決し、誰もが健康で生き生きと暮らせる「健康長寿と



「いきいきクラブ」園児との交流

協働のまちづくり」に力を注ぐ必要があります。それとともに、新たな雇用を生み出し、結婚・出産・子育てしやすい環境をつくり、若い世代の定住人口を増やしていかなければなりません。その具体策の例として、国道473号賑わい交流拠点・新東名島田金谷IC周辺・旧金谷中学校跡地などの整備事業の推進により、地域振興と交流人口の拡大に結びつけ、行政自身が「稼ぐ仕組み」を創ってまいります。産業支援センターの設立も、その一環です。



金谷中跡地アイデアコンペ一般投票

今後柔軟な発想とスピード感をもって都市経営を担い、「行政は究極のサービス産業である」という自覚をもって諸課題の解決に全力を注いでまいりますので、ご理解・ご協力をお願いします。

結びに、市長就任時にお約束した30項目の公約について「市政への取組実施状況評価」を発表します。実施率93.3%、未着手のものはありません。項目ごとの達成率や取組内容、今年度の予算配分については、市ホームページまたは各支所・公民館などで閲覧ができますので、ぜひご覧ください。

「公平・公正な市政の実現を目指す」「市政の透明性を確保する」といった観点からも、市民の皆さまにご報告申し上げます。

「広報ひみ」から

姉妹都市である富山県氷見市から寄せられたイベント情報などを紹介します。

氷見市を訪れた島田市の皆さんに、すてきな特典があることをご存じですか。

姉妹都市から氷見市にお越しになり、市内で宿泊された先着500人の皆さんに、氷見の特産品をプレゼントしています。海の幸、山の幸、温泉に恵まれた風光明媚な氷見市に、ぜひ、お越しください。

プレゼント進呈場所／氷見市観光情報センター（ひみ番屋街内）☎ 0766-74-3521

持ち物／宿泊したことが分かる領収書と住所の分かるもの

㊟氷見市観光交流・若者と女性の夢応援課

☎ 0766-74-8036



氷見漁港の守り神「唐島」^{からしま}と立山連峰